

○人事課長からのメッセージ

就職や転職は人生における重要な転機であり、大きな決断を迫られる大切な時です。働きやすい職場であるか、やりがいを得られるか、処遇はどうか等、色々と迷われると思いますが、そんな皆様の一助となるように、公務員と山陽小野田市の職員について私が思うことをお伝えします。

公務員に対してどのようなイメージを持たれているか分かりませんが、地方分権や地方創生の進展により、従来の定型的な業務を遂行するという姿から大きく変化し、経営感覚を持って、まちを良くするために自ら考え、市民の皆様や企業、団体など多様な主体と協力しながらまちを育てていく、ざっくりというとそんな感じです。もちろん、様々な部署があり定型的な業務もありますが、デジタル化による業務の効率化や市民サービスの向上など、常に前向きな変化を求めて改善していく、そうした意識が強く求められます。大変な部分もありますが、自分がかんばれば市が良くなっていくということを実感でき、やりがいに繋がります。

給与等の処遇面については、民間企業の賃上げの動きを受けて公務員の初任給も引上げが行われたところであり、公務員は毎年、きっちりと一定額昇給していきますし、退職金を含めた生涯賃金に直せば、十分な水準であると思います。また、福利厚生もしっかりしており、特に近年は働き方改革にも力を入れ、働きやすさを示す指標（時間外勤務、年休取得率、育児休業取得率）も大幅に改善しており、山陽小野田市役所はワークライフバランスの取れた働きやすい職場であると思います。

その他、地方公務員のいい所としては安定していることに加えて、転勤がありません。考え方にもよりますが、転勤がないというのは安定した生活を送る上のメリットであると思います。また、市役所は様々な部署があり、仕事内容も全く違います。通常は3年～5年で人事異動がありますので、異動をすれば業務を一から覚え直す必要がありますが、新たな気持ちでモチベーションを保ちながら、税金や福祉、教育、まちづくりなど幅広い分野の業務に携われるのは魅力の1つであると思います。

今後、社会が大きく変容していく中、やりがいや働きやすさ、安定性、処遇面等も含めて、皆様が公務員を目指されるのは、私は正解であると思います。

最後に、公務員は国民全体の奉仕者であり、市民のため、市を良くするために職務を全うするという強い意識が求められます。近年は頻発化・激震化する災害対応や選挙事務、様々な生活支援対策など業務内容も複雑多様化しており、決して楽な仕事ではありません。市民の皆様の命と生活を守ること、それが公務員の使命であるということを自覚し、活力と笑顔あふれるまち、スマイルシティ山陽小野田の実現に向けて、我々と一緒になって働いてくれる高い志を持った方の応募をお待ちしています。